

東日本大震災復興支援



News

## 「3.11 からの出発」

当館では震災後、陸前高田市を中心に支援活動をしてきました。市立小友小学校を定期的に訪問し、NPO法人うれし野こども図書室分館・陸前高田こども図書館「ちいさいうち」に人材面で協力しています。今回は、松岡名誉理事長とともに、陸前高田市をはじめ訪れた研修生、職員、理事、3人の手記を掲載します。

小友小に行く朝、車窓からは造成が進む高台が見え、その規模から改めて被害の大きさが感じられました。ふと、「お話できるだろうか……」と弱気になりましたが、そんな思いは1・2年生の子どもたちを前にするとかき消えました。私が語る「三枚のお札」を全身で真正面から受け止め、松岡先生の「くらーいくらーい」には転げまわって喜ぶ子どもたち。こんな日常を、これからも積み重ねて欲しいと思いました。 黒田優香

1～4年生に、職場で私が担当している広報の仕事について話しました。取材や撮影のことや「ちいさいうち」が掲載された雑誌の紹介などです。「パディントン」ファンの子が映画化の話喜んでくれ、その笑顔にほっとしました。教室を出ると、1階廊下の壁、大人の背丈ほどの位置に、折り紙のチューリップが横一列に並んでいます。「ここが津波の高さ、忘れないために貼っています」と、先生が教えてくれました。 吉田啓子

「ちいさいうち」を初めて訪ねました。明るい陽射しと本に囲まれた小さな部屋は隅々まで良く工夫され、すっかりくつろいでしまいました。ちょうど「たべるのだいすき つくるのもすき」の読書キャンペーンの真っ最中。展示された本を読むと、ごちそうの絵のついたシールがもらえます。シールは、職員が手作りしたミニチュアのカフェや焼き鳥屋などに並べられています。レストラン「いいいおくかにと」もありました！ 杉山きく子

東京子ども図書館のバザーのでできごと おはなしのへやの「3.11からの出発」コーナー。そこには、支援のためのグッズと並んで、募金箱を置きました。児童室の10円・50円・100円ショップで買い物をすませた子どもたちも、顔をのぞかせます。6年生のNくんは、おかあさんに被災者支援のブローチを買ってあげたいけど、お金が足りないなあと、残念そうにしていました。あたりを見回し、募金箱を見つけると、「買えないけど、ここに入れるね」と、自発的に残っていたお金を募金してくれました。 内藤直子

### ●引き続き、活動資金へのご寄付をお願いいたします。

振込先：ゆうちょ銀行／郵便局 口座記号番号：00130-9-115393 加入者名：公益財団法人 東京子ども図書館  
ニュースレターのバックナンバー（2011年4月16日～）は、ホームページでご覧になれます。